

HMD マルチロガー H1000
SDカード&PCソフト
取扱い説明書

2016年07月07日

お問い合わせ

SDカード&PCソフト取説

データロガー／アンプ／センサー／ソフト／計測システム／試験機／他



株式会社 濱田電機

TEL (042) 473-4041

FAX (042) 472-0089

Home Page <http://www.hmd-dk.jp>

営業所／〒203-0013 東京都東久留米市新川町2-4-5 メモリーマンション1F

SDカード上では、1個のファイル（xxxxx.hfe）が1枚のフロッピーディスクに相当します。従いまして、標準添付の2Gのカードでは、FDが約600枚分入る事になります。通常のPC操作と同じ様に階層フォルダーを作る事が出来ますが、マルチロガー上では、1行の表示スペースしか無く、フォルダー名が長い場合や階層が深い場合は、操作が大変になりますのでマルチロガーでの説明に、例として示して有るようなフォルダー及びファイル名にする事が良いです。

マルチロガーの操作は、FDと同様に行えますが、SDカードの取り出し時では、PC上でのSDカード操作と同じ様に取り出し操作を行います。対応可能なSDカードは、SD／SDHC 32GBまでです。

***** HxCFloppyEmulator_softの説明 *****

このPCソフトは、マルチロガーでSDカードに読み書きするファイルを、通常のファイルに展開する為のソフトです。

ソフトのインストールは、付属のSDカードをPCにセットして、フォルダー”HxCFloppyEmulator_soft”をハードディスク上にコピーします。最初の場合は、ハードディスク上の”HMD-CDカード”の様なフォルダーを作成して、SDカード全てをこのフォルダーにコピーする事をお勧め致します。

新しいSDカードを使用する場合は、この”HMD-CDカード”フォルダーの全てをコピーするか、”floppy_profile.fpf”、”HXCSDFE.CFG”及び測定データ保存用の”Data Floppy.hfe”をコピーします。

1枚のSDカードに、複数のFDを作りたい場合は、”Data Floppy.hfe”をコピーして名前を変更します。例として、”FD1.hfe”．．．”FDxxx.hfe”

HxCFloppyEmulator_softソフトの実行は、下図の実行ファイルクリックで行います。

HMD-CDカード

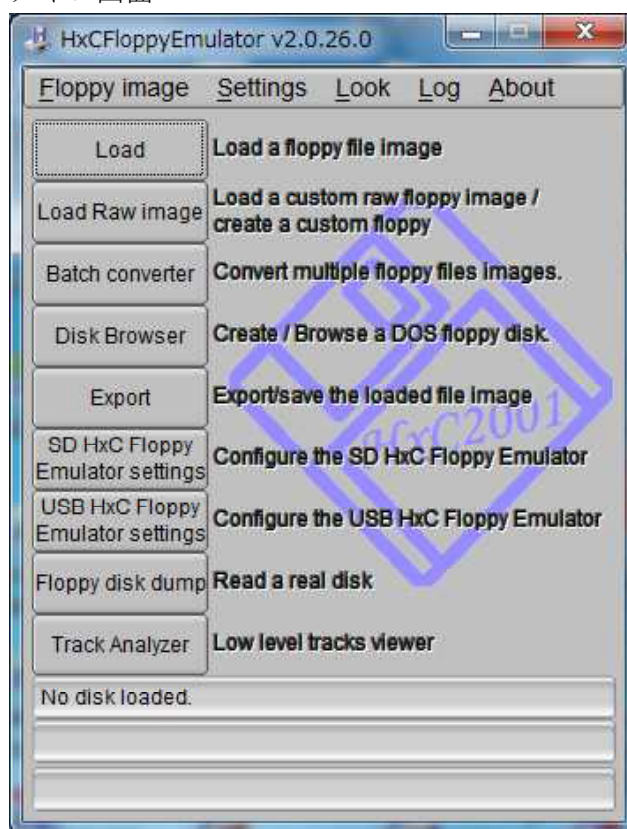
HxCFloppyEmulator_soft

Windows

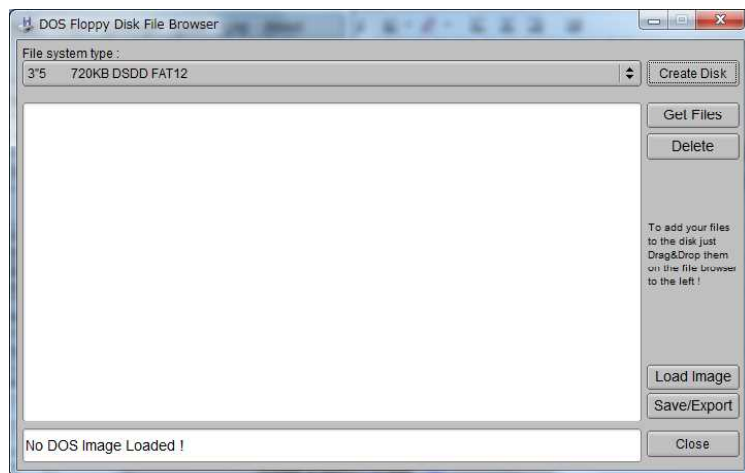
HxCFloppyEmulator のクリック

メイン画面

- xxxx.hfeファイルの
- ① SDカードから読み取り
 - ② SDカードに書込



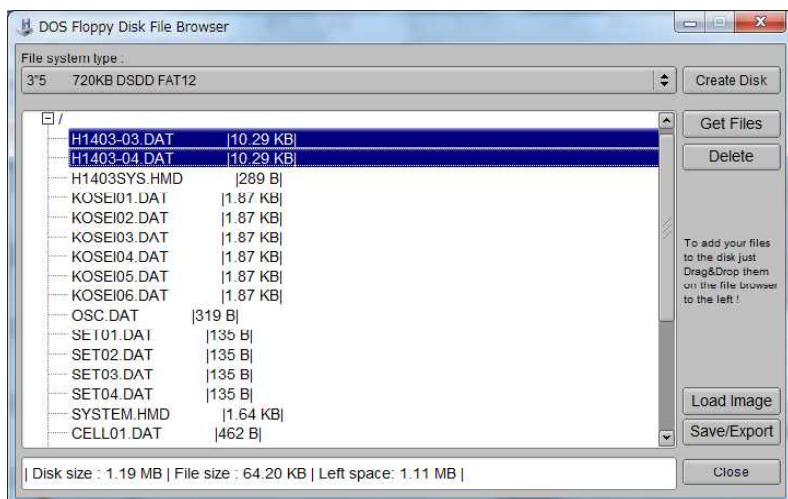
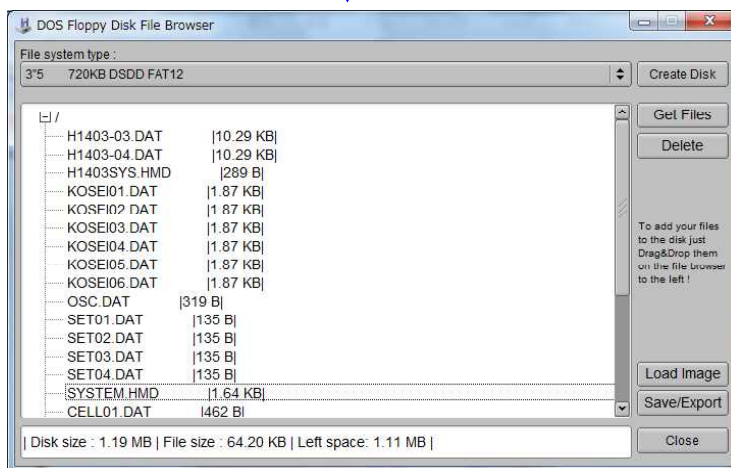
① SDカードから読み取り方法を説明します。



“Load image”ボタンで、
SDカードから“xxxx.hfe”
ファイルを読み込みます。

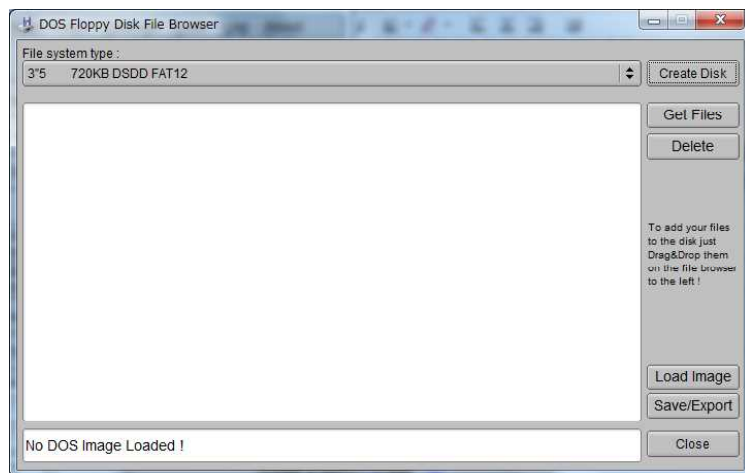
“xxxx.hfe”ファイルが展開されます

取り出したいファイルを選
択します。
複数選択は、Ctl+左クリック
範囲選択は、Shift+左クリック



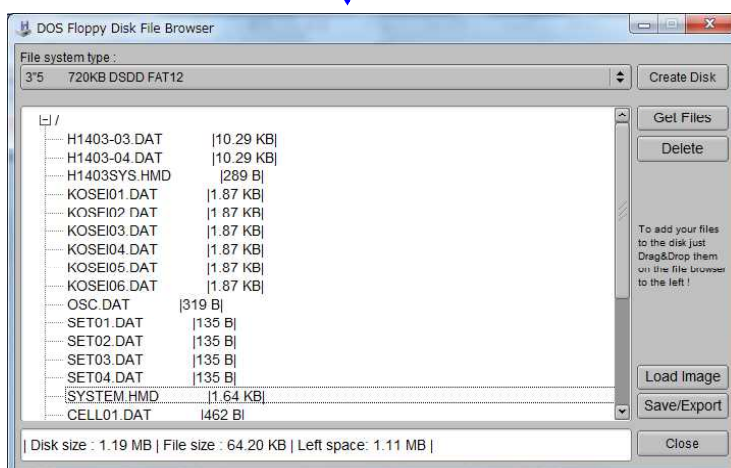
“Get Files”ボタンで、任意の
フォルダーに書き込まれます。

② SDカードに書込方法を説明します。

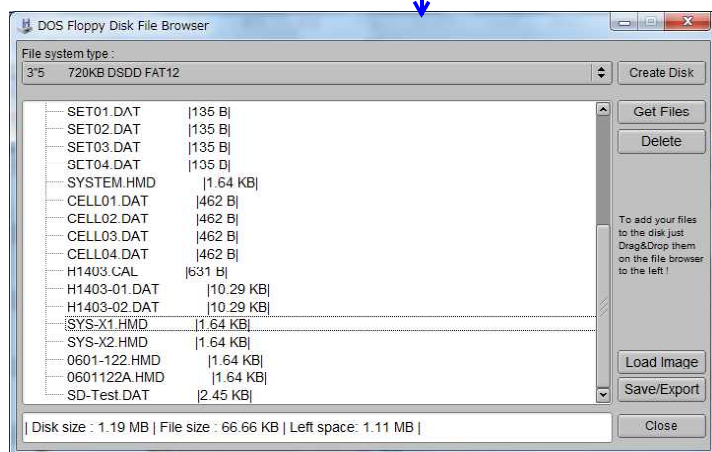


“Load image”ボタンで、
SDカードから“xxxx.hfe”
ファイルを読み込みます。

“xxxx.hfe”ファイルが展開されます

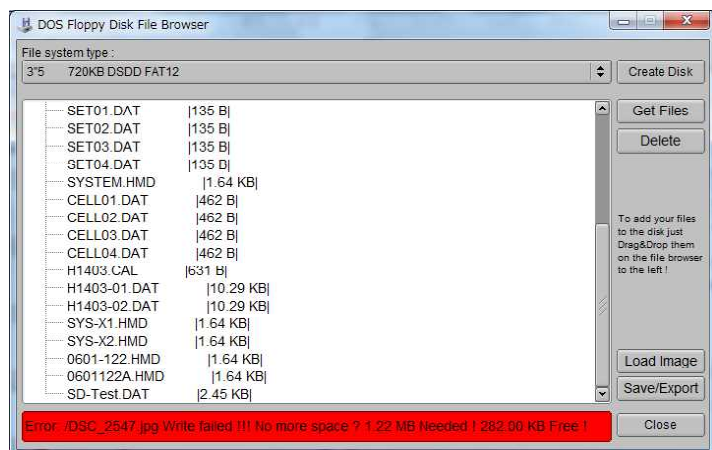


追加、変更したいファイル
をドラッグします。



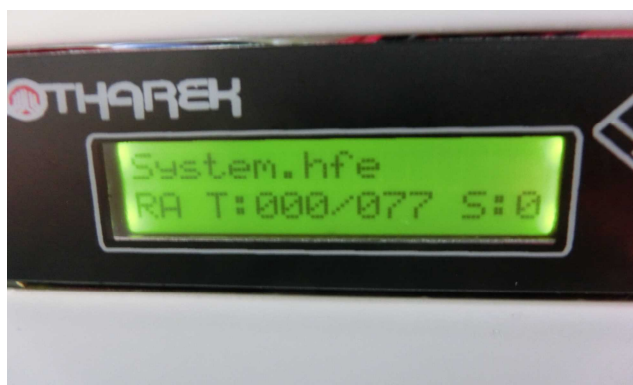
“SaveExport”ボタンで、SDカードの
元のhfeファイルに上書きします。

ファイル容量がオーバーした場合



“Delete”ボタンで、削除出来ます。
空のhfeファイルを作成する場合は
全てのファイルを削除して、
“SaveExport”で行います。

③ マルチローガーでの使用方法を説明します。



❖禁止事項❖

左側のライトが点灯している時は、SDカードの取り出しはしないで下さい。
その場合、真ん中の“決定ボタン”を押し、左のライトが消灯した事を確認した上で、
SDカードを取り出して下さい。

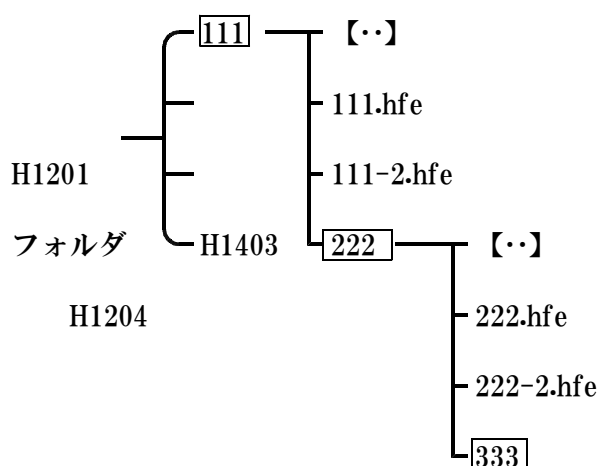
左右のボタンは選択する時に使用します。
それぞれ、左のボタンは“戻る”
右のボタンは“進む”を表します。



例えば、フォルダの中に **111** というファイルがあり、その **111** が
示されている時、右の“進む”ボタンを押すと、H1201が表示され、左の“戻る”ボタン
を押すとH1403が表示されます。また、真ん中の“決定”ボタンを押した場合は、
111のファイルの中に入り【..】が表示されます。【..】が表示されている時に、右ボタンを
押すと111.hfeが画面に表示されます。以降の操作も同様に行ってください。※図1 参照



※ 図1





◆終了するとき◆

左側のライトが消えていることを確認

電源を落とす、若しくはSDカードを抜く。

※再度電源を入れた場合(又はSDカードを入れた場合)は、前回最後に使用していたファイルが画面に表示されます。使用とは、左側のランプが点灯している状態になった時のことです。

又、前回最終使用のファイルが表示された時に、左側のランプも点灯した状態となっています。もし前回と同じファイルを使用するならば、そのままの状態で構いません。

然し、違うファイルを使用する場合は、左右のどちらかのボタンを押して下さい。そうしますと、先頭のファイル集団に戻ることになります。この時は、左側のランプは消灯した状態となっています。

そして、真ん中の“決定ボタン”を押しますと、先頭のファイルに有る【～. h f e】が自動的に使用状態(つまり左側のランプが点灯した状態)となって表示されます。

SDカードの読み書きが一定時間無い場合は、右図の様にライトの点灯がなく、フラッシュ点灯になります。SDカード動作が起こると自動的にライト点灯して、SDカードの読み書きが行われます。



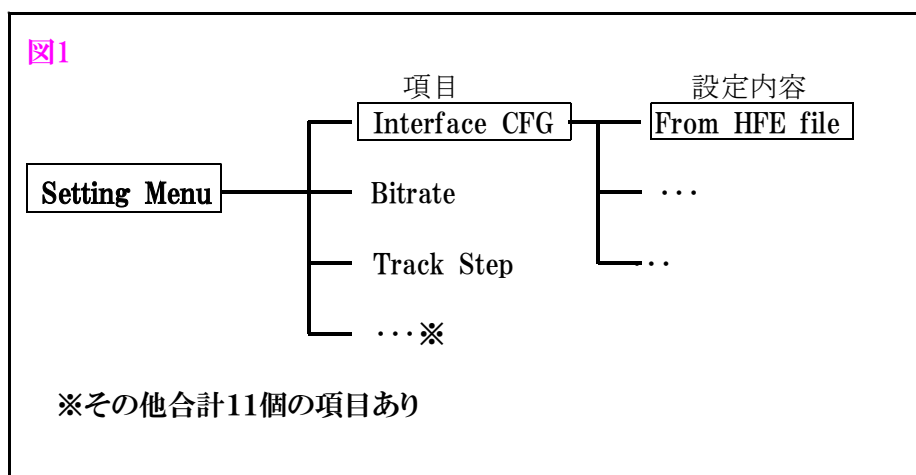
④ 各種エラー若しくは動作不能になった場合の改善方法を説明します。

1. SDカードを押して外します。
2. 右図の画面が出るまで、真ん中のボタンを押します。
3. 上段がSetting Menuになっていることを確認して下さい
 - (1)下段はInterface CFGを選び、真ん中のボタンで決定します。以後、各設定の中に入る操作は真ん中のボタンになります。
 - (2)下段に、From HFE fileが表示されるので中に入ります。そうしますと、Bitrateの設定に変更されます。
 - (3)Bitrateの中に入り、From HFE fileを選び決定しますと、Track Stepの設定に変更されます。
 - (4)Track Stepの中に入り、From HFE fileを選び決定しますと、Write Protectの設定に変更されます。
 - (5)Write Protectの中に入り、From SD Switchを選び決定しますと、Drive Bの設定に変更されます。
 - (6)Drive Bの中に入り、From CFG fileを選び決定しますと、Sound Volumの設定に変更されます。
 - (7)Sound Volumの中に入り、From CFG fileを選び決定しますと、Backlightの設定に変更されます。
 - (8)Backlightの中に入り、From CFG fileを選び決定しますと、Standbyの設定に変更されます。
 - (9)Standbyの中に入り、From CFG fileを選び決定しますと、Soft versionの設定に変更されます。
 - (10)Soft versionの中に入り、V1.8.2.40 L:2A89を選び決定しますと、Clear Settingsの設定に変更されます。
 - (11)Clear Settingsの中に入り、Noを選び決定します。右図の画面のように下段が、Exitのに変更されます。
4. Exitを選び決定します。
最後に、SDカードを入れて、使用したいファイルを選択し決定をします。



※注意事項

- ①左右のボタンが選択、真ん中のボタンが決定となります。
- ②大まかな流れは下図の図1を参考にして下さい。



お問い合わせ

SDカード&PCソフト取説

データロガー／アンプ／センサー／ソフト／計測システム／試験機／他



株式会社 濱田電機

TEL (042) 473-4041

FAX (042) 472-0089

Home Page <http://www.hmd-dk.jp>

営業所／〒203-0013 東京都東久留米市新川町2-4-5 メモリーマンション1F